

2022年6月
No.22-109a(全)

検体検査実施料に係るお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、令和4年5月31日付け厚生労働省保険局医療課長通知「保医発0531第4号」にて、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」(令和4年3月4日付け保医発0304第1号)が改正され、令和4年6月1日より適用されることになりましたのでご案内いたします。

敬具

記

■新規収載項目

- 裏面をご確認ください。

■新規収載項目

点数 区分	検査項目名	実施料	判断区分 判断料	注
D004-2 悪性腫瘍組織検査				
1	KRAS遺伝子変異(G12C)検査	2,500	遺伝子・染色体 100	*1

[注] 下線部が追加されました。

*1:「1」の「イ」の「(1)」医薬品の適応判定の補助等に用いるものとは、次に掲げる遺伝子検査のことをいい、使用目的又は効果として、医薬品の適応を判定するための補助等に用いるものとして薬事承認又は認証を得ている体外診断用医薬品又は医療機器を用いて、リアルタイム PCR 法、PCR-rSSO 法、マルチプレックス PCR フラグメント解析法又は次世代シーケンシングにより行う場合に算定できる。

ア 肺癌における EGFR 遺伝子検査、ROS1 融合遺伝子検査、ALK 融合遺伝子検査、BRAF 遺伝子検査(次世代シーケンシングを除く。)、METex14 遺伝子検査(次世代シーケンシングを除く。)、KRAS 遺伝子変異(G12C)検査

イ～オ (略)

点数 区分	検査項目名	実施料	判断区分 判断料	注
D012 感染症免疫学的検査				
53	黄色ブドウ球菌ペニシリン結合蛋白2' (PBP2') 検出	291	微生物 150	*2

[注]

*2:ア 黄色ブドウ球菌ペニシリン結合蛋白2' (PBP2') 検出は、イムノクロマト法により、血液培養により黄色ブドウ球菌が検出された患者を対象として測定した場合又は免疫不全状態であって、MRSA 感染症が強く疑われる患者を対象として測定した場合のみ、本区分の「53」結核菌群 抗原定性の所定点数を準用して算定する。

イ 黄色ブドウ球菌ペニシリン結合蛋白2' (PBP2') 検出は、区分番号「D023」微生物核酸同定・定量検査の「16」ブドウ球菌メチシリン耐性遺伝子検出が実施できない場合に限り算定する。

ウ 本検査を実施した場合、区分番号「D026」検体検査判断料については、「7」微生物学的検査判断料を算定する。

点数 区分	検査項目名	実施料	判断区分 判断料	注
D023 微生物核酸同定・定量検査				
10	腔トリコモナス及びマイコプラズマ・ジェニタリウム同時核酸検出	350	微生物 150	*3

[注]

*3:腔トリコモナス核酸及びマイコプラズマ・ジェニタリウム同時核酸検出は、リアルタイム PCR 法により、腔トリコモナス感染症を疑う患者であって、鏡検が陰性又は実施できないもの若しくはマイコプラズマ・ジェニタリウム感染症を疑う患者に対して治療法選択のために実施した場合及び腔トリコモナス感染症又はマイコプラズマ・ジェニタリウム感染症の患者に対して治療効果判定のために実施した場合に、本区分の「10」HPV 核酸検出の所定点数を準用して算定する。

点数 区分	検査項目名	実施料	判断区分 判断料	注
D023 微生物核酸同定・定量検査				
12	百日咳菌・パラ百日咳菌核酸同時検出	360	微生物 150	*4

[注]

*4:百日咳菌・パラ百日咳菌核酸同時検出は、関連学会が定めるガイドラインの百日咳診断基準における臨床判断例の定義を満たす患者に対して、PCR 法により測定した場合に、本区分の「12」百日咳菌核酸検出、肺炎クラミジア核酸検出の所定点数を準用して算定する。